



愛治自治会だより

第79号



発行日
令和2年8月1日

ここに注目！

- 宇和島自動車バス愛治路線最後の運行に向けて (6～7ページ)
- 宇和島自動車バスフォトコンテスト (5ページ)

目次:

就任のご挨拶	1
令和2年度自治会総代名簿	2
令和2年度 事業計画	2
令和2年度予算書	3
令和2年度 行事予定	4
愛治地区町有林管理組合通常総会	4
民生児童委員からのお知らせ	4
病気見舞いのお返し廃止運動	5
シトラスリボン運動に賛同します	8
まごころ銀行ご寄附のお礼	8

就任のご挨拶

愛治自治会長 芝田 正文



この度自治会長を
お引き受けること
になりました芝田でござ
います。どうぞ、よろ
しくお願い申し上げま
す。

さて、今春初頭から
世界中で猛威を振るっ
ております新型コロナウイルス
ウィルスは、私たちの
生活に様々な影響を与
えることとなり、自治
会の事業につきまして
も中止や延期を余儀な
くされるものが出てお
ります。ご理解を賜り
たいと存じます。

とここで、私は以前
から「愛治」という地
名の由来が気になっ
ております。

この地名は、明治22
年に大宿、生田、清
水、畔屋、西野々の五
つの村が合併し「愛治
村」が誕生したこと
始まり、今は地区名と
して残っています。

町の名前をどうする
かということは大変大
きな問題で、その時々
の関係者はだれしも相
当な神経を使われたこ
とだと思います。今の鬼
北町の町名は「鬼北地
域」、旧広見町の「広
見」は、「広見川」か
ら来ております。しか
し、「愛治」について
は、それに「関連する地
名などもなく、また、
「愛治」という地名は
区内でも、この愛治地
区だけのようでありま

このようなことを考
えてみますと、我が明
治の先人たちは「愛治
村」という言葉に「愛
治マル」の理想の村へ
の思いを込めたのでは
ないかという気がいた
しません。コロナウイ
ルスの禍の中で様々な
が飛び交っています。現
在を乗り越えていく
お一人「愛治」とい
う地名に込められた思
いの高さに脱帽の感
がするのではありません。

愛治村が誕生してか
ら一三〇年余り。当時
と社会状況は大きく変
わっておりますが、私
たちもまた、明治の先
人たちが目指したであ
ろう温かく思いやり
満ちた住みよい愛治
を目指して、共に支え
合っています。ご協
力をよろしくお願いいたします。
ご理解とご協力
をよろしくお願いいたします。



令和2年度 愛治自治会総代名簿

自治会運営委員

自治会長	芝田 正文
自治会副会長	清家 基憲
会計	久保田安夫
顧問	末廣 健
運営委員	渡邊 正一
〃	小原 勝
〃	末廣 典子
〃	藤原 伸一
〃	芝 悦子
町議会議員	松浦 司
町議会議員	末廣 啓
2年度区長	高田 國重
〃	古谷 榮
〃	芝 三展
監事	芝 茂
〃	高村 恵治
〃	芝 賢一

各 部 落・各 組 役 員

	区 長 (前区長)	組 長	女性役員
大宿	高田 國重 (久保田安夫)	渡邊 輝孝	兵頭めぐみ
		高田 竜二	清水 幸子
		藤川 邦夫	渡邊小百合
		渡邊 正一	渡邊 美鈴
		芝 茂	芝 美代子
生田	清家 基憲 (清家 博之)	小原 勝	川野 友子
		片山 洋	濱田 里美
		岩井 幸象	有馬多恵子
		渡邊 廉夫	金子 和子
清水	古谷 榮 (末廣 健)	高村 恵治	高村 真澄
		古用 勝昭	古谷美代子
		上岡ひとみ	末廣 典子
		谷口 久雄	前野 紀美
畔屋	芝田 正文 (渡辺 誠)	大平 健人	前田 裕子
		谷口 和広	芝 ふみ子
		藤原 伸一	松藤 洋子
西野々	芝 三展 (兵頭 一誠)	渡邊 諭	高田 宏美
		青木 唯雄	松岡真理子
		芝 賢一	高田 直子
		兵頭 一誠	芝 悦子

各種団体長等

町議会議員	松浦 司
町議会議員	末廣 啓
愛治公民館長	芝 弘晃
愛治小学校長	古谷 孝
愛治小PTA会長	毛利 文春
広中PTA代表理事	毛利 知子
町有林管理組合長	藤城 英秋
農協愛治支所長	平野 隆志
清水郵便局長	古用 敏
交安協愛治支部長	谷口 久雄
町老連愛治支部長	山本 守
健康を守る会会長	芝田 正文
消防団第三分団長	兵頭 貴秋
体育振興会会長	岡本 学
民生児童委員代表	芝 ふみ子
来 夢 会 長	末廣 啓
母 愛 夢 会 長	渡邊 良子
保育所保護者会長	古用 敏
保 育 所 長	二宮 優子
連 絡 所 長	善家 恵美



令和2年度 愛治自治会 事業計画

1. 愛治地区の課題の推進

- ① 若者の定住促進
- ② 集落排水施設への接続及び浄化槽整備の推進
- ③ 環境問題（ゴミ・河川美化）への意識高揚
- ④ 愛治地区内の交通道路の整備促進
- ⑤ 愛治ふるさと館の整備と活用
- ⑥ 竜王滝遊歩道設置に向けての取組み
- ⑦ 裏山等、土砂崩れ災害防止への取組み

- ⑧ 町営バスの適正な運行体制への取組み
- ⑨ 新たな公共交通についての検討
- ⑩ 頻発する自然災害に対する意識高揚

2. 心豊かなふる里づくり

- ① 健康問題への取り組みの促進
- ② 独居老人への気配りの促進
- ③ 花いっぱい運動の促進
- ④ 伝承事業を後世に伝えるため、維持促進を図る。
- ⑤ 地域環境の整備

3. 地域の担い手の育成

4. 青少年の健全育成

5. 女性活動の推進

6. 生活改善の推進

(お見舞いのお返し等の廃止)

7. 自治会だよりの発行（年2回）

8. 愛治地区各種恒例行事への協力・援助



令和2年度 愛治自治会 予算書

【収入の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
繰 越 金	226,855	195,056	31,799	元年度繰越金
会 費	225,600	233,600	▲8,000	800円×282戸
助 成 金	140,000	140,000	0	管理組合助成金、町委託料
雑 収 入	545	344	201	利子等
寄 付 金	20,000	0	20,000	ふれあい祭り寄付金
計	613,000	569,000	44,000	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
事 務 費	50,000	50,000	0	はがき・切手・消耗品
会 議 費	10,000	10,000	0	
旅 費	5,000	5,000	0	
役 員 手 当	40,000	40,000	0	会長20,000円、副会長10,000円、会計庶務10,000円
事 業 費	250,000	250,000	0	愛治ふれあい祭り 90,000円 ふるさと館整備費 50,000円 PTA研究集会 50,000円 愛治公園関係 40,000円 お砂踏み 20,000円
助 成 金	120,000	120,000	0	愛治夏祭り 50,000円 敬老行事 50,000円 健康を守る会 20,000円
光 熱 水 費	6,000	10,000	▲4,000	愛治公園関係
予 備 費	132,000	84,000	48,000	
計	613,000	569,000	44,000	



令和2年度 自治会関連行事予定

年	月	日	曜日	行事・イベント名	場所	備考
2	10	18	日	愛治地区球技大会	愛治小学校	
	10	25	日	愛治地区PTA研究集会	愛治小学校	
	11	3	火	愛治地区秋祭り	愛治地区内	文化の日
	11	22	日	愛治ふれあい祭り	未定	
3	1	10	日	愛治地区どんど焼き	清水郵便局裏	
			未定	愛治地区健康を守る会講演会	愛治公民館	

本年度は、総代会の後にも行事の中止や延期が続いています。今後の予定につきましても変更の可能性がありますので、随時回覧等でご確認ください。

愛治地区町有林管理組合

—第65回通常総会を書面会議で開催—



第65回通常総会に向けた役員会の様子

去る5月25日に開催されました愛治地区町有林管理組合役員会において、第65回通常総会について書面会議とすることが決定され、各役員を通じて組合員による審議、議決書提出が行われました。

員309名中、246名の提出があり全会一致でそれぞれ承認されました。

令和2年度については、オオモリダバ他の間伐を行なう予定となっています。また、作業道ウシノネヤ線については、延長566m、面積1,698㎡の改良工事が行われる予定です。



こんにちは！

民生児童委員です！



「あなたの秘密は必ず守ります。お気軽にご相談ください」

民生児童委員は、地域のみなさんの相談相手、見守り役です。住民の立場に立って、相談にのり適切な支援が受けられるようサポートします。

地域の見守り活動を通じて、高齢者や障がい者、子育て家庭などで孤立することのないよう支援や助言、関係機関とのパイプ役など、地域社会の福祉向上に向けた取り組みを行っています。

『心配ごと・悩みごとひとりで抱えていませんか』

- ★【大宿】池田 さとみ ☎46-0651
- ★【生田】中尾 静香 ☎46-0152
- ★【清水】古谷 久代 ☎46-0146
- ★【畔屋】芝 ふみ子 ☎46-0207
- ★【西野々】藤城 けい子 ☎47-0073



宇和島自動車バスフォトコンテストを開催！！

宇和島自動車バス「愛治診療所前行き」の最後の姿をとらえた写真を募集します。

- 【テーマ】「日常の中の宇和島自動車路線バス～愛治診療所前行き」
- 【応募資格】どなたでもOK
- 【応募部門】デジタルカメラ部門・スマートフォン部門・フィルム部門
お一人様3点まで応募可。カラー・モノクロ可。
- 【作品の規定】A4（210×297mm）内のサイズ、愛治地区内で撮影したもの
- 【応募方法】愛治公民館へメール・郵送・持ち込みのいずれかの方法で応募。
- 【締め切り】2020年9月11日（金）必着
- 【審査・賞】最優秀賞1点、こども大賞1点、来夢賞各部門1点、母愛夢賞各部門1点、特別賞1点 ※公民館に展示期間中に来館者の投票により決定。
- 【作品展示】9月28日から10月20日まで愛治公民館に展示予定
- 【そのほか】応募作品の著作権は撮影者に帰属。ただし、愛治自治会（愛治公民館）が広報、PRのために応募作品を複製、印刷、展示することなどを許諾するものとする。被写体に人物が写っている場合は、必ず本人（被写体）の承諾を得ること。応募作品は、愛治地区公共交通の記録として画像データ保存するものとする。※このほか詳細は実施要項をご覧ください。実施要項は公民館にあります。
- 【応募先・お問い合わせ先】愛治公民館（フォトコンテスト事務局）
鬼北町大字清水1043-1 ☎0895-46-0001 ✉aiji.k@town.kihoku.ehime.jp 担当 善家
- 【主催】愛治自治会・愛治活性化集団来夢・母愛夢
- 【後援】宇和島自動車株式会社
- 【協賛】近永カメラ

山間地域である愛治地区の公共交通の歴史を色鮮やかに残し、語り続けていこう



実施要項と応募票は愛治公民館ホームページからダウンロードすることもできます

病氣見舞いのお返し（内祝）廃止を 愛治地区全体で進めよう！

愛治自治会では、『病氣見舞いのお返しの廃止』を地区全体で進める運動に取り組んでいます。お返しを廃止して、退院、回復の状況報告とお礼を含めた挨拶状のみに切り替えましょう。

お返しをして感謝の気持ちを伝えたいということは、皆さん方共通のお考えだと思いますが、これです分に気持ちちは伝わると思いますが。地区の皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

※左記の内容のお見舞い袋に入れるカードを用意しています。必要な方は、公民館まで取りにおいでください。みんなでの運動を進めましょう。

お返しの心づかいはありません

愛治自治会では生活改善の一環として、お見舞い等のお返しの廃止を地区全体で進めています。

つきましては、このお見舞いにはお返しの心づかいはありませんので、ご配慮をお願いいたします。

愛治自治会長

PICK UP!

宇和島自動車バス愛治路線最後の運行に向けて

愛治地区を路線バスが走り始めて約100年。最後の路線バスとなっていた宇和島自動車「愛治診療所前行き」が今年8月末でその運行を終了することとなりました。

昭和初期には、地域住民の移動に欠かせなかったバス。昭和40年代になると様子が変わってきました。「一家に一台」と言われ自家用車が急速に普及し始めたのが昭和50年代。2人に1人は自家用車を所持し、「移動の自由さ」が好まれるようになりました。

その一方で、免許証を持たない地域住民の足として重要な役割を担ってきたバスの乗客は、高齢者や学生がほとんどとなり、その数は年々減少しました。それに合わせ路線も減り、運行ダイヤが改正され、不便さが否めなくなり、ますます利用者が減っていくことをどうすることもできずにいました。



宇和島自動車路線バスの運行終了を前に、その歴史を振り返り、これからの公共交通について考えていきたいと思えます。



明治42年頃から四国各地に自動車が登場、愛媛県では、大正7年愛媛自動車株式会社が創立され、松山～今治間で開業した。愛治地区で最初に運行されたのは、大正12年。宇和島市の四国自動車が、宇和島～清水間に乗り入れを始めた。

その後、宇和島自動車株式会社が四国自動車のバス路線を買収し、昭和18年から宇和島～近永間に乗り入れ、国鉄バスと共に広見地方における主要な交通機関となった。昭和23年には清水～小倉の運行を開始し昭和50年代ごろには宇和島市内からの路線は4路線、1日に約10本のバスが乗り入れする、車社会の生き残りをかけた競争のような状況だった。

当時を知る、元宇和島自動車運転手、**清家正志**さん（82・生田）に話を聞いた。昭和37年に24歳で入社し58歳で退職するまで、路線バス・観光バス、全国各所へ行ったそう。入社当時、路線バスに乗る人はどんな人たちだったのか？

清家「お勤めで乗る人らよ。宇和島で働きよるもんはみんな乗りよったえ。自家用車は持ってなかったんやけん。各停留所、乗る人がおらんとこはなかった。いっつも満席でぎゅーぎゅーやったんよ。他の路線と出会う停留所で空いとるバスに乗り換えんといけんくらいよ」何人くらいの運転手さんで回していたのか？

清家「松野方面行きの路線と合わせて、20人くらいで交代しよったえ。愛治は宇和島からの野村行き、大



宿行き、清水行き、それと清水経由の小倉行きがあったんよ。最終便はそれぞれに宿舎があってね、毎日4人が泊まりよった。最初の頃は車掌もおって、女性車掌がおった頃は、別にも宿舎があったんよ」愛治出身の運転手は他にもいたのか？

清家「大宿だけでも5、6人おった。愛治には相当たくさん運転手がおったんよ」

..... そんなににぎやかだった時代から運転しながらどんどん乗客が減ってきてさみしかったのでは？

清家「会社がよく言いよったのが『子どもを大事に』。子どもは半額やけど10円からの積み重ねやけん、子どもに対して大切に对应するように、しょっちゅう言われよったなあ」

これからの愛治地区公共交通

どうすれば子どもたちに残せるか、私たちが考える



現在、土屋発北宇和病院行きの町営バスが日に4往復運行されている。もともとは宇和島自動車の路線バスが走っていた区間の代替バス。

路線バス全廃止を受けて、今後どのような改善が必要か検証するため試験運行中ということで、朝一番の便はJR予土線大内駅を経由している。しかし利用者はほとんどいない。2便以降は多い時で4、5人。いつもだいたい空で走りよるかなあ、と語るのは、町営バス愛治線の唯一の運転手、**小田富也さん**（63）。運休する土日祝日以外は基本的に休みなくバスを走らせている。元タクシー運転手で、桜ヶ峠の蛇行した道も安全に快適に運転してくれる。毎日昼は、土屋で停車しお弁当。待機時間の多い町営バスだが、穏やかな笑顔で愛治地区の公共交通を守っている。

町営バスの第4便は午後4時前後に運行しているが、その便は毎日愛治小学校の低学年の児童が利用する。利用している児童の保護者に話を聞いた。「学年が上がると放課後に、水泳や陸上練習があり、低学年の下校が心配になるが、バスのおかげで家の近くまで送ってもらえるのは本当にありがたい。今のまま継続してもらいたい」

運行に感謝する一方で「車内が狭いので移動がしづらいみたい。お年寄りの方も大変そう。NV350キャラバンからハイエースに変えてほしい」という声も。

今、自家用車を運転し移動に困っていない方も、いつかは誰かの助けが必要となる。今、私たち自身が自らのこととして知恵をしなければ、これからの公共交通を守っていけないのではないだろうか。

今年度第2回の区長会では、愛治地区の公共交通に関する説明・協議が行われた。今後、各部落で意見を集約し町へ報告することとなっているため、積極的にご意見をいただきたい。

普段自家用車で移動している方も一度は乗ってみませんか？朝、仕事に行くときに乗るもよし、飲み会のある夕方乗るもよし。乗れば改善点も見えてくるかも。

●料 金 片道全区間200円、小学生以下無料、各種障害者手帳をお持ちの方は半額

●運休日 土・日曜日及び祝日、年末年始

①バス停で待つ

②ドアが開いたら乗る「お願いしまーす」

③席に着いたらバスは走り出す

④降りるバス停の手前で運転手さんに「次降ります！」と大きな声で言う

⑤バス停に停まったら、立ち上がり、料金受けの箱に200円（100円）を入れる。「ありがとうございました！」



シトラスリボン運動

愛治自治会も賛同します！

『シトラスリボン運動に取り組む理由』

差別や偏見のない地域を守っていくことで、検査が必要かなと思われの人が、躊躇なく安心して受けていただき、いち早く対策を打つことができると思います。検査で陽性者が出た・出ないということ自体より、「その後」に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると思います。』
(シトラスリボンプロジェクト フェイスブックより要約)

愛治自治会ではこの運動に賛同し、啓発活動のためステッカーを配布します。賛同される方は、愛治公民館までお越しください。
(配布は8月からの予定です)



Citrus Ribbon PROJECT

「ただいま」「おかげあり」って言いあえるまちはきつと、だれにとっても暮らしやすいまちであるはずです。
 “コロナ禍”の「その後」も視野に入れて、暮らしやすい地域をめざしませんか？

愛治自治会

愛媛県北宇和郡
 鬼北町大字清水1043番地1
 事務局
 愛治公民館
 電話：0895(46)0001
 FAX：0895(46)0909
 電子メール：
aiji.k@town.kihoku.ehime.jp

愛治公民館のホームページ

<https://www.town.kihoku.ehime.jp/site/aiji-k/>



委員長 芝田 正文
 委員 高田 國重
 清家 基憲
 古谷 榮
 芝 三展
 芝 弘晃
 善家 恵美

編集委員

愛治地区まごころ銀行ご寄附のお礼

平成28年4月からの寄附者について掲載させていただきます。ご芳志を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

愛治地区を発展させるための活動費並びに地域住民の皆さんが利用していただく設備等の整備費に活用させていただきます。ありがとうございます。

水元 豊文 様 (大宿)
 二宮 政文 様 (大宿)
 清水 広人 様 (大宿)
 筒井 実子 様 (宇和島市)
 白敷セチ子 様 (清水)
 中谷 宏章 様 (広島県)
 芝 文男 様 (西野々)
 清家 徳雄 様 (生田)

古谷美代子 様 (清水)
 前田 英登 様 (畔屋)
 清家 巖 様 (生田)
 谷口 国江 様 (清水)
 谷口 美輪 様 (清水)
 古谷 通 様 (清水)
 清家 正子 様 (生田)
 眞田 純子 様 (清水)
 西田 成人 様 (生田)
 久保田安夫 様 (大宿)
 高田 和直 様 (神奈川県)
 佐々木國保 様 (清水)
 菊地 弘 様 (大洲市)
 芝 一夫 様 (西野々)
 清家 利文 様 (清水)
 岩井 正志 様 (生田)
 清水 悟 様 (大宿)
 松浦 京子 様 (畔屋)
 松浦 福吉 様 (奈良)
 谷口 續雄 様 (清水)